

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	理工学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ (学部) コースワークとリサーチワークのバランス (院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供 (学部) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容 (学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供 (院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供 (専院)

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。

A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 科目の先修関係を2011年度中に図表化し、科目の配置に問題がないか点検し、学生に履修用資料として公開する。	→当該資料、およびその点検と公表の状況。	B	B	B	/	/
2. 大学での授業理解に必要な学力が不足する学生に対し、これを身につけさせるための仕組みを整備する。	→リメディアル教育プログラム、および2013年度の改訂カリキュラム。	C	B	B	/	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	各学科ごとに授業科目間の依存関係を明示した資料を作成している。この資料は授業科目の順次性や体系的な点検や学生の履修選択の指導資料としても利用が可能であるが、学科ごとの性格もあり授業科目間の依存関係の意味合いが統一されていないので、現段階では公開はされていない。
☆ 目標2	初年次教育への準備として、一般入試以外の入学生には入学前教育を行っている。また、入学時の数学の学力不足に対応するため、2010年度から入学生を対象に「数学基礎力テスト」に基づく数学リメディアルプログラムを試行している。2010年度は物理学科、情報科学科、人間システム工学科の3学科で実施し、2011年度は出題範囲を広げるなどの改良を行い、物理学科、化学科、生命科学科、情報科学科、人間システム工学科の5学科で実施した。また、数理科学科、人間システム工学科が2012年度に完成年次を迎えることもあり、2011年度から各学科で2013年度の改訂カリキュラムを検討している。
備考	